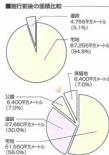




## 国際集客都市・大阪の新しい顔

### 国際・文化・情報の拠点オオサカガーデンシティ

オオサカガーデンシティは、西日本最大の交通要所という地区の特性を生かし、文化性・国際情報性を備えた新しいまち。昭和30年代の終わりがちから取壊量が減少していた旧国鉄梅田貨物南ヤードを中心とする9.2ヘクタールを、旧国鉄、民間地権者、大阪市など7者が組合施行の土地区画整理事業によって15年の歳月をかけて誕生させました。道路は地区の30%とし、特に地区を東西に貫く幅員22メートルの都市計画道路西梅田線には両側に、幅3メートルの歩道部と宅地の10メートル壁面後退を合わせて13メートルのプロムナード空間を創出しました。デザイン性の高い照明と常緑樹で包まれた歩道は無電柱化し、国際集客都市・大阪の顔となる良好な都市景観を実現しました。新たに6,400平方メートル(7%)の公園を確保し、水のある都市型の西梅田公園をつくりました。この公園では噴水や壁泉によって親水性を高めているほか、モニュメントなどの夜間ライトアップによる景観演出を行なっています。



- 名称 / 大阪都市計画事業・西梅田土地区画整理事業  
 ● 施行区域 / 大阪市北区梅田2丁目・3丁目第一種 ● 施行区域面積 / 約92,010平方メートル  
 ● プロック数 / ●プロック1 / 10,309平方メートル ●プロック2 / 25,701平方メートル ●プロック3 / 6,414平方メートル  
 ●プロック4 / 13,423平方メートル ●プロック5 / 8,453平方メートル  
 ●事業期間 / 昭和60年度～平成10年度 ●事業費 / 184億円(うち、補助基本額54億円)